

# Infinity Vol.10

～大学と地域の協働力は無限大∞～

2022.6.20発行

発行元  
龍谷大学  
社会共生実習支援室

〒520-2194  
滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5  
龍谷大学瀬田キャンパス  
6号館1階106号室

TEL:077-544-7230  
FAX:077-543-7615

E-mail:co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

農福連携で地域をつなぐー「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」プロジェクトの活動風景

## 2022年度 プロジェクト活動開始



▲滋賀県レクリエーション協会の運営者会議に参加

### コミュニティの情報発信！レク龍プロジェクト

#### (久保プロジェクト)

滋賀県レクリエーション協会において、広報活動を実践しながら学んでいく本プロジェクトでは、5月15日に滋賀県レクリエーション協会の理事・評議員会に参加しました。昨年度のレクリエーションの開催状況（事業報告）や収支報告、今年の活動内容（事業計画）、予算などについての情報を知ることができ、広報活動のヒントを得ました。また、5月29日に定例の運営者会議にも参加し、講習会事業について、募集方法やチラシ作成、講師・スタッフの調整などについて学ぶことができました。

広報活動の一環として本プロジェクト受講生がSNS発信をしていくことも正式に認められ、実際にInstagram、Twitter、Facebookでの情報発信を始めました。

本プロジェクトでは、親子向けのイベントを企画しており、実施に向けての情報収集や広報活動の準備も進めています。

### お寺の可能性を引き出そう！ー社会におけるお寺の役割を考えるー（猪瀬・古荘プロジェクト）

5月15日に滋賀県守山市にある浄念寺に行き、日曜学校に参加しました。この日は8人の子どもたちと日曜学校に参加。ご住職が子どもむけに「つながり」に関する分かりやすい法話をされた後、受講生が事前に考えて用意した「絵しりとり」というゲームなどをしました。子どもたちは、受講生と一緒に遊び、打ち解けることができました。

21日には京都市にある本願寺の「降誕会」を参拝し、一念寺を訪問の後、門前町のまち歩きをおこないました。本願寺では、国宝である唐門や境内、重要文化財である書院の中を案内していただき、角度を変えると見え方が変わる絵や欄間など、エンターテイメントとしての側面が寺院にあることを学ぶことができました。

一念寺では、本学出身のご住職の来歴やお寺での活動についてのお話を伺いました。本願寺門前町にある一念寺には長い歴史があり、周辺地域にも歴史ある建物や正史には掲載されていない地域住民によって語り継がれている話も多く残されています。それらを集めてお寺で共有する活動など地域が必要とすることをお寺で提供されているため、活動内容が多岐にわたっていることを知ることができました。



▲本願寺 唐門（国宝）の説明を受けている様子

# <2022年度プロジェクト一覧>

<p>①地域エンパワねっと・大津中央</p> <p>担当者 脇田 健一</p>	<p>学生力×地域力=無限大∞</p> <p>大津市中央学区とのコラボを通じて、地域活性化を実地に学びます。テーマは地域住民とともに学生自身が見つげ出します。社会学部教育を特徴づけるプログラムです。</p>
<p>②コミュニティの情報発信！レク龍プロジェクト</p> <p>担当者 久保 和之</p>	<p>滋賀県レクリエーション協会の広報活動について、広報誌の編集発行作業・ホームページの管理運営などの仕組みや内容を学ぶとともに、現状の問題点を探り、解決に向けて企画・運営していきます。</p>
<p>③大学は社会共生に何ができるのか -文化財から“マネー”を創出する-</p> <p>担当者 高田 満彦</p>	<p>改正文化財保護法施行で観光における文化財の活用促進が一気に加速します。滋賀の文化財というリソースを最大限活用しマネーの創出法を学生・行政・NPOのコラボで考えます。</p>
<p>④農福連携で地域をつなぐー 「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」</p> <p>担当者 坂本 清彦</p>	<p>障がい者、高齢者、生活困窮者らが農業に携わる「農福連携」を通じて地域社会とつながり、いきいきと暮らせる共生社会の実現に向けた課題発見、解決のための企画・実践をめざします。</p>
<p>⑤お寺の可能性を引き出そう！-社会におけるお寺の役割を考える-</p> <p>担当者 猪瀬 優理・古荘 匡義</p>	<p>いまお寺では、仏教に関わりのない人も参画して、地域の居場所やつながりをつくる活動が行われています。そのような活動に参加しながら、地域社会におけるお寺の役割と可能性を考えます。</p>
<p>⑥いくつになっても、出かけられる！ ～高齢者を元気にする介護ツアー企画～ 後期開講</p> <p>担当者 高松 智画</p>	<p>介護が必要な高齢者に楽しんでもらえる日帰りツアーの企画から実施、評価を行います。高齢者へのインタビューや高齢者を取りまく問題や課題などについての考察をふまえて、プランを作成します。</p>
<p>⑦多文化共生のコミュニティ・デザイン ～定住外国人にとって住みやすい日本になるには？～</p> <p>担当者 川中 大輔</p>	<p>京都の在日コリアンの方々との交わりを中心に、多文化共生まちづくりの問題を具体的に捉え、その問題解決のための活動を企画・実施します。</p>
<p>⑧障がいをもつ子どもたちの放課後支援 前期開講</p> <p>担当者 土田 美世子</p>	<p>放課後等デイサービスでの活動を通じて、障がいをもつ子どもとの具体的な関わり方、放課後支援の意義を学び、子どもの側の視点に立った社会の在り方を考えます。</p>
<p>⑨自治体をPRしてみる！</p> <p>担当者 岸本 文利</p>	<p>地域の魅力を映像ツールでPR。映像制作スキルは放送局OBが指導。今回の舞台は大阪・門真市と滋賀県・高島市。何をPRすれば面白いかは自治体広報と一緒に学生が考えます。社会で通用する広報力を磨きます。</p>

Webサイト・SNS では最新の情報を随時更新中♪



社会共生実習  
Webサイト



社会共生実習  
Twitter



社会共生実習  
Instagram



社会共生実習  
Facebook



エンパワ  
Twitter



坂本プロジェクト  
Facebook



レク龍  
Instagram

誌面のアイデア募集！  
・読んでみたい記事  
・知りたい情報 etc…  
ご意見・ご感想も  
お待ちしております。  
社会共生実習支援室まで  
お寄せください。